

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス福の木				公表日 2025年 5月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		ワンフロアで段差もなく十分なスペースがある。	移動時に玩具などを踏んで転倒しないように注意する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準となる人員配置を適切に配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内においては段差もなく、過ごしやすい環境づくりを心がけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃を行っている。広々と活動できるよう机などの配置に注意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	ワンフロアのため、個別の部屋はないが、必要に応じてパーテーションで区切っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		短時間勤務のスタッフも含め、改善に向けた取り組みをしていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケート結果を基に、面談時にマニュアルの説明など実施させていただいています。	事業所運営について理解していただく機会を設けられるように取り組んでいきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		スタッフミーティング時に話し合う場を設け、必要に応じて対応している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		外部評価を行っておらず、今後も行わない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		必要な研修は実施されている。行政や民間の研修にも参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成し、ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		面談を通して、課題や今後の目標を見出し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		スタッフ会議を実施し、支援内容が適正であるか等、検討・修正を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画書の内容を共有し、内容に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		標準化されたツールは使用していないが、独自のツールを使用し、適切なアセスメント・モニタリングを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		スタッフで話し合ったうえで決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		毎月、創作活動、作業課題、SST等設定し活動している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	その日の状況に応じて、適切に対応するように心がけている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		スタッフミーティングを行い、1日の流れや取り組みについて確認し支援をさせていただいています。	長期休暇や学校休校日は開始前に全員でミーティングを行えないため、その都度申し送りを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	全体でのミーティングは支援終了後には行わず、翌日のスタッフミーティング時に話し合い情報共有を行っている。急を要することは管理者に報告し早急に対応するようにしている。	スタッフの就業時間が異なるため、支援終了後に全体でのミーティングが行えない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	日々の活動については、ケース記録として記録を作成し、計画書と照らし合わせて振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に1回、保護者様等とモニタリングを行い適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		ガイドラインに沿った支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		場面に応じてご本人の意思を確認し、決定するように取り組んでいる。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議の開催がないため参加していないが、連絡協議会には参加をしている。	関係機関と連携がとれる環境づくりをしていく必要があると思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	一部、市の関係機関と情報共有を行い、支援に役立てている。	少しでも多くの関係機関と連携がとれる環境づくりは必要であると感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		連絡調整については完璧ではないが、順調だと感じる。情報共有は学校からあまり連絡はなくホームページなどを確認し対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		一部の相談支援センターとは情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		連絡があった事業所については、保護者同意のもと情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		連絡協議会で事例検討を行い、スーパーバイズを受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	交流する機会はありません。保護者様からも必要性を感じないと意見があります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		法人所在地の連絡協議会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時に保護者様とお話するように心がけたり、連絡帳を通して情報を共有するようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	以前は外部講師を招いた研修に参加していただいたりしていたが、昨年度は実施できなかった。ペアレント・トレーニングは行っていない。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や面談時に説明をさせていただいています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画書作成前に面談を実施しご本人と保護者様の意向を確認している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		同意を得ている。同意に対する署名・捺印もいただいている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談いただいた際は迅速に対応し、必要に応じた支援を行うようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	保護者会等の開催は行っていない。 保護者様からの要望もなく今後も開催する予定はない。	保護者会等は行わないが研修などに参加する機会を設け、交流の場となるよう検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		契約時に苦情対応について説明させていただいている。 苦情の申し入れがあった際には、迅速に対応し、状況によっては行政へも相談・報告を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月の行事予定を配布している。定期的ではないがブログでの発信を行っている。	ブログだけでなくその他のSNSを活用した情報発信も検討していく必要があると感じる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫に保管している。職員については入職時、退職時に秘密保持の契約書を交わしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		利用児童の特性に応じた支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	事業所の行事に地域の方は招待していない。	感染等を考慮し、今後も招待することは難しいと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		契約時や面談時にマニュアルについて説明させていただいている。必要な訓練は実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）を策定し必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前に確認は行っていないが、都度何かあれば情報共有を行い対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に保護者様にアレルギーについての情報を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成している。マニュアルを基に研修や訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画を作成し保護者様に配布を行っている。面談時に説明させていただいている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ミーティング時に話し合う機会を設け、改善策等協議し再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を中心に研修を行い、意識や知識を高めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		法人にて身体拘束の定義を定め、必要があった場合には保護者様に説明を行い同意書に署名・捺印をいただいている。個別支援計画書にもその旨記載している。身体拘束委員会を中心に研修を行い、意識や知識を高めている。		